

2023年12月3日  
府中がんケアを考える会

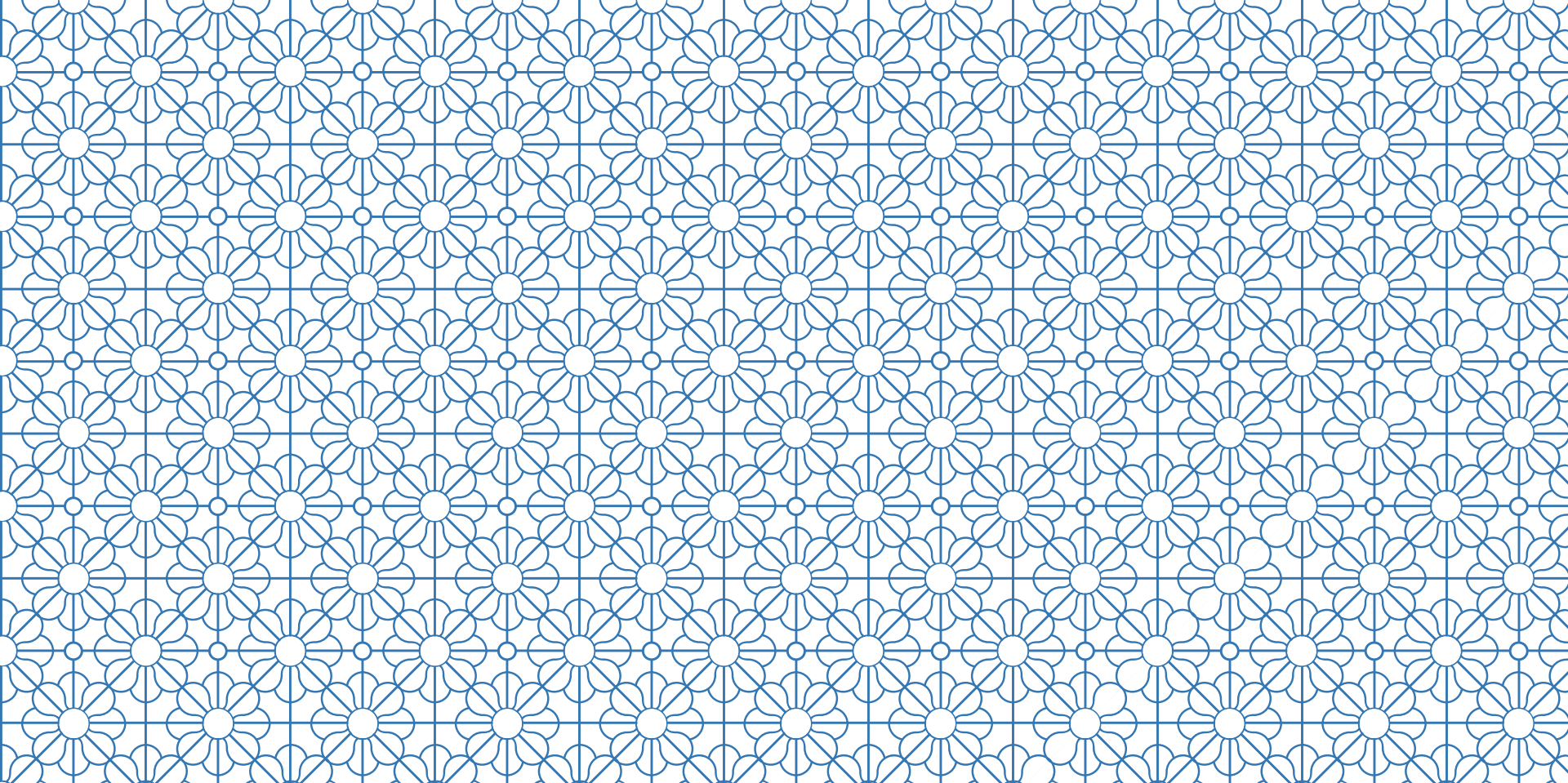


# 多摩総合医療センターでの 緩和ケアの取り組みと地域連携

多摩総合医療センター  
緩和ケア科 杉原有希

# 本日の内容

- 緩和ケアとは
- 緩和ケアを提供する場
- 多摩総合医療センターの緩和ケアの取り組み
- 切れ目ない緩和ケアのための地域連携



緩和ケアとは



Orange Balloon  
Project

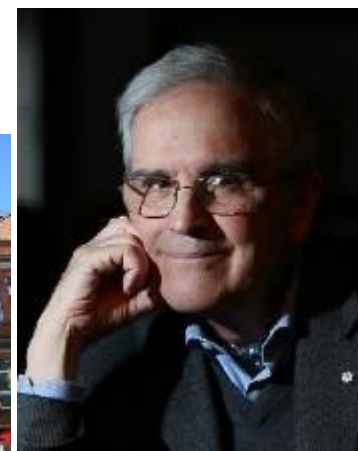
# 緩和ケアの歴史①

- 中世ヨーロッパ  
教会の庭、巡礼者や遭難者の救護所
- 1835年 メアリー・エイケンヘッド  
(アイルランドの修道女)  
貧困者の看取りのための「ホスピス」を設立  
Hospitium (客を厚くもてなすこと)が語源
- 1952年 マザー・テレサ  
インド カルカッタ 「死を待つ人の家」



## 緩和ケアの歴史②

- 1967年 シシリー・ソンドース  
(イギリスの看護師・医師)  
薬剤を用いた疼痛コントロール  
「死を待つ場」から「痛みを治療して生きる場」へ
- 1975年 バルフォア・マウント(カナダの医師)  
「緩和ケアpalliative care」という言葉を提唱  
pallium(体を覆い隠せるほど大きなマント)が語源



# WHO世界保健機関が定義する「緩和ケア」

1990年

「治療の効果が望めなくなった患者と家族に対する全人的ケア」



2002年

生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者と家族の痛み、その他の身体的、心理社会的、スピリチュアルな問題を

早期に同定し適切に評価し対応することを通して、

苦痛を予防し緩和することにより、

患者と家族のQuality of Lifeを改善する取り組み

# 「緩和ケア」昔のイメージ



# 「早期からの緩和ケア」





# 「早期からの緩和ケア」

2010年の医学論文 (NEJM)

診断の時点で転移がある(手術ができない)肺がん

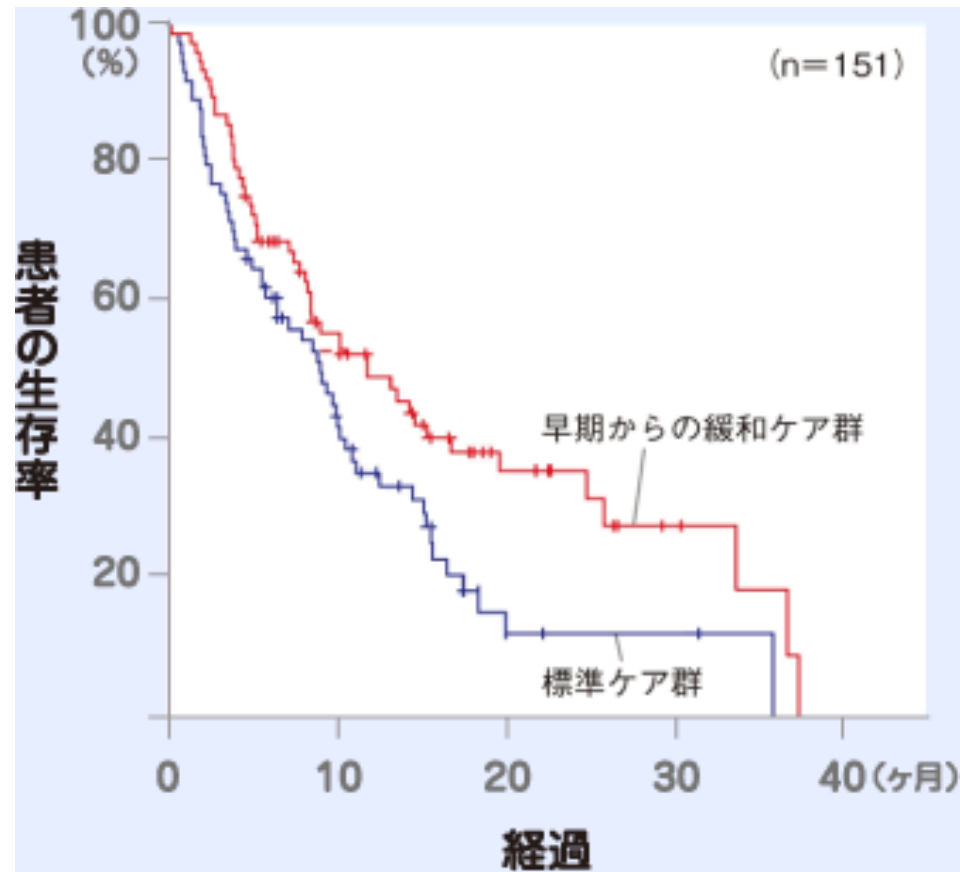
「通常の抗がん剤治療」群と

「抗がん剤+緩和ケア」群を比較



緩和ケア群のほうが

- ・うつ病になる率が低い
- ・QOL(生活の質)が高い
- (・生存期間が長い???)



# 緩和ケアの取り組み

- 痛みやその他のつらい症状を和らげる
- 心理的およびスピリチュアルなケアを含む
- 疾患の治療や生存期間の延長を意図した治療（積極的治療）と組み合わせて早期から適応できる
- QOL（生活の質）を高める、疾患の経過にも良い影響を及ぼす可能性がある
- 患者ができる限り能動的に生きられるよう支援する
- 生命を肯定し、死にゆくことを自然な過程と捉える
- 患者の家族もケアの対象である

# とくに症状の治療について

- 痛みやその他のつらい症状を和らげる  
痛み、息苦しさ、吐き気、だるさ、食欲不振、不眠 などなど…

→ **薬物療法** とくに医療用麻薬を安全に使う

治療の難しい症状への薬剤の工夫

飲みやすい・管理しやすいような工夫

**非薬物療法** 薬剤以外の治療（放射線、神経ブロックなど）

ケアや日常生活の工夫

**精神的サポート** 不安への対処が症状の治療にもつながる

患者さん自身の「自己コントロール感」を高めることも大切

# 患者さんのさまざまな「つらさ」

## 身体的なつらさ

疾患に起因する痛み  
治療に関連した痛み  
日常生活に伴う痛み

## 社会的なつらさ

孤立・疎外  
家族・人間関係の変化  
社会的役割の喪失  
経済的ストレス

死への恐怖  
抑うつ・いらだち  
恐怖・悲嘆・怒り  
不確かさに対する不安

## 精神的なつらさ

罪責感・後悔  
人生の意味への問い  
価値観・信念のゆらぎ

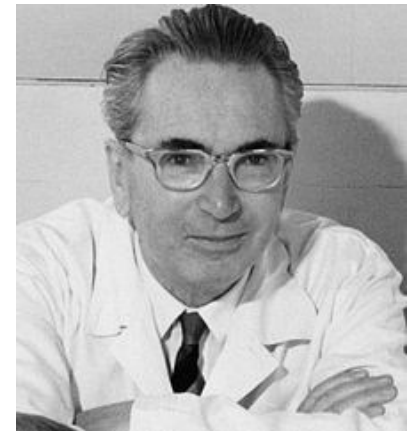
## スピリチュアルな つらさ

## 全人的苦痛

# 「能動的に生きる」とは？

自分の人生を自分自身で決めること ……かな？

「あらゆるものを奪われた人間に  
残されたたった一つのもの  
それは与えられた運命に対して  
自分の態度を選ぶ自由  
自分のあり方を決める自由である」



(ヴィクトール・エミール・フランクル『夜と霧』)

## アドバンス・ケア・プランニング (ACP)

万が一のときに備えて、あなたの大切にしていることや望み、  
どのような医療やケアを望んでいるかについて、  
自分自身で考えたり、信頼する人たちと話し合ったりすること

ACP = 「もしも」に備えた話し合いのプロセス

身体・心理・社会的な面を通じた「気がかり」を話し合うことも重要  
万が一自分で意思決定ができないときでも自身の意向が尊重されるために、予め代理意思決定者を決定し、意向を記載し、定期的に振り返ることが推奨される。

# 命の危険が迫った状態では・・・

約4分の3の患者さんが、意識状態の変化によって治療内容について自分で決めたり人に伝えたりすることができなくなる

調子が悪くて喋れない、意識がない、意識が混濁している薬で眠っている



- 治療をおこなうかどうかの判断が難しい  
(助けられることも、助けられないこともある)
- 医学的なこと以外の、患者さんを取り巻く事情がたくさんある

→ あらかじめ、患者さんの意向を、大切な人に伝えておくことが、とても大切!

# 予め伝えておくこと

- ・自分の大切なこと、自分の人となり
- ・いのちに対する考え方
- ・自分のかわりに医療・ケアの方針を決めてもらいたい人
- ・自分が望む/望まない医療・ケア

具体的な医療・ケアの内容

過ごしたい場所

とくに終末期の延命治療について





良いアドバンス・ケア・プランニングができる

患者さんの満足度が高まる

代理決定者-医療者のコミュニケーションが改善

病院死の減少（望んだ場所でさいごを迎えられる）

死別後の家族の不安や抑うつが減少



# ACPを開始するタイミング



すべての人

日頃から  
代理意思決定者を決  
めておく  
自分の価値観・大事  
なもの、命に対する考  
え方について話し合っ  
ておく

疾患・高齢・生活機能の低下

ACPを開始  
この先に何が起こる  
か考える  
受りたいor受けたく  
ない医療・ケアについ  
て具体的に話し合う  
話し合いを繰り返す

死が迫っているとき

改めて  
蘇生・延命処置の  
方針を確認  
  
会話や意思表示が  
できないときには  
代理意思決定

# 緩和ケアの対象となる人

## Serious Illness (重篤な疾患)

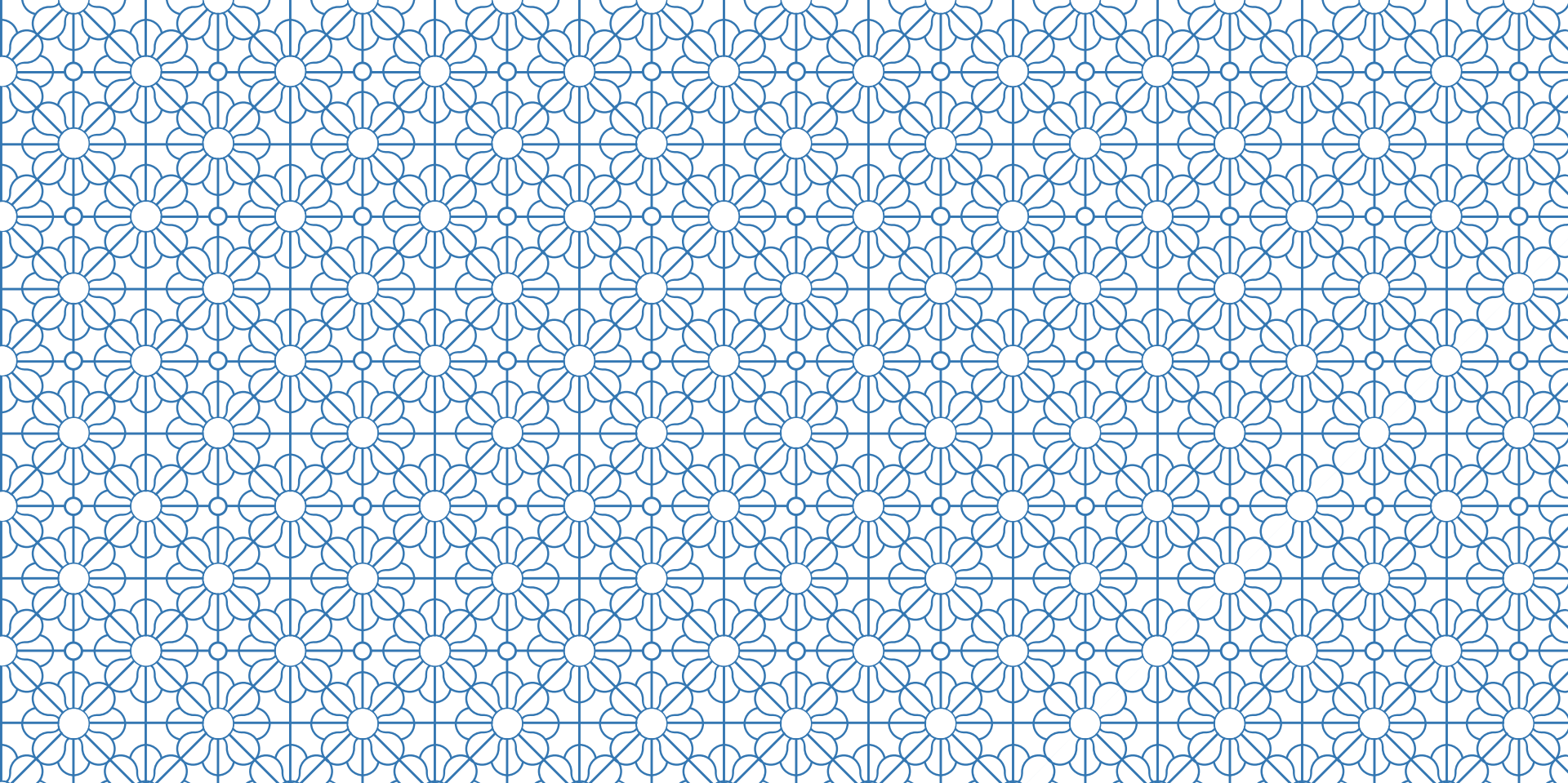
- ・生命を脅かす可能性がある疾患
- ・疾患によりQOL (生活の質) や生活能力が低下する場合
- ・治せる疾患であっても治療じたいや治療の副作用が辛いとき
- ・上記の患者をケアする人の負担が大きく、辛い場合

~~「緩和ケアはがんだけのもの」~~

~~「治る病気だから緩和ケアは必要ない」~~

~~「積極的治療が終わってから緩和ケアをはじめよう」~~

疾患に伴う苦痛を抱える患者さん・ご家族は緩和ケアの対象です  
疾患の種類・病期・予後・積極的治療の有無は関係ありません



緩和ケアを提供する場




Orange Balloon  
Project

# 専門的緩和ケアを提供する場

- ホスピス・緩和ケア病棟
- 緩和ケアチーム・緩和ケア外来
- 在宅緩和ケア

## 緩和ケアの歴史③日本では

- 1973年 淀川キリスト教病院にホスピス病床設置
- 1981年 聖隷三方原病院にホスピス病棟開設
- 1996年 日本緩和医療学会 創設  特定非営利活動法人  
日本緩和医療学会  
Japanese Society for Palliative Medicine
- 2007年 「がん対策推進基本計画」策定  
緩和ケアをがん医療の重点課題のひとつに列記



淀川キリスト教病院ホスピス



聖ヨハネ会桜町病院ホスピス

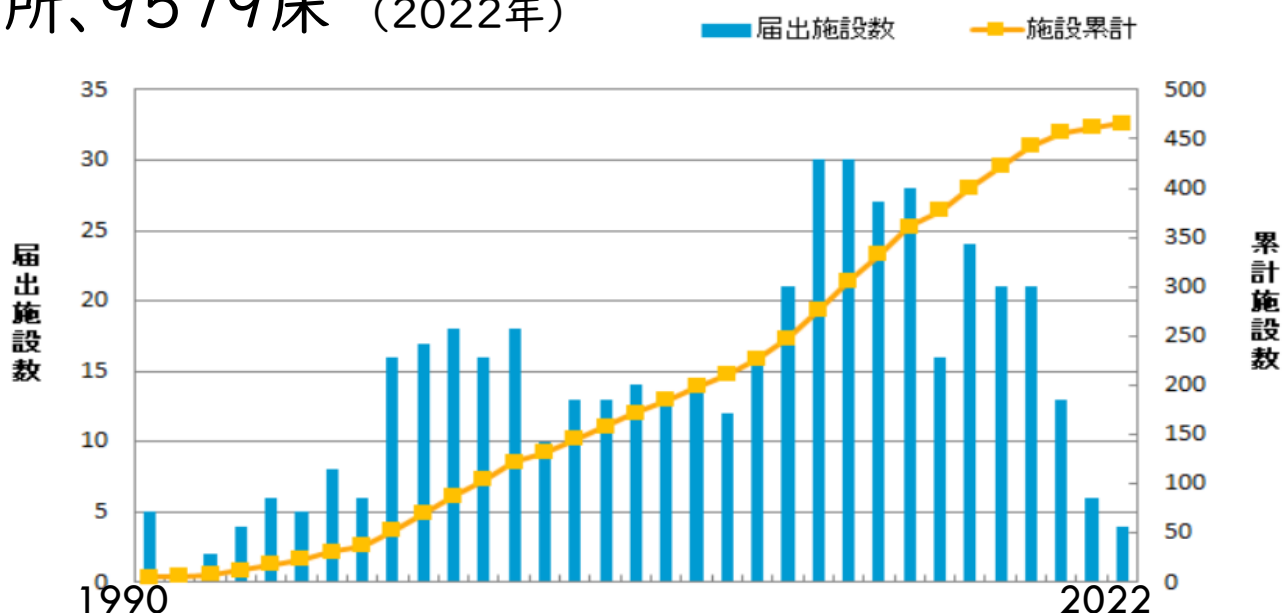
# 専門的緩和ケアを提供する場

- ホスピス・緩和ケア病棟

「がん」「AIDS」のみ対象（公的医療保険が適応される）

患者一人当たり面積、家族の控え室、専用のキッチン、  
面談室、談話室 などの施設基準あり

全国463箇所、9579床（2022年）



全てのがん看取りのうち12.0%（2021年,全国平均）

生存退院23.8%（2021年）「死を待つ場所」ではない

# 専門的緩和ケアを提供する場

- 緩和ケアチーム・緩和ケア外来

「がん」「AIDS」「末期心不全」のみ対象

(公的医療保険が適応される)

医師を含む多職種で構成していることなどの基準あり

チーム・外来があることが「がん診療連携拠点病院」の  
必須要件

多摩総合医療センターでは

緩和ケアチーム・外来診療をおこなっています



# 専門的緩和ケアを提供する場

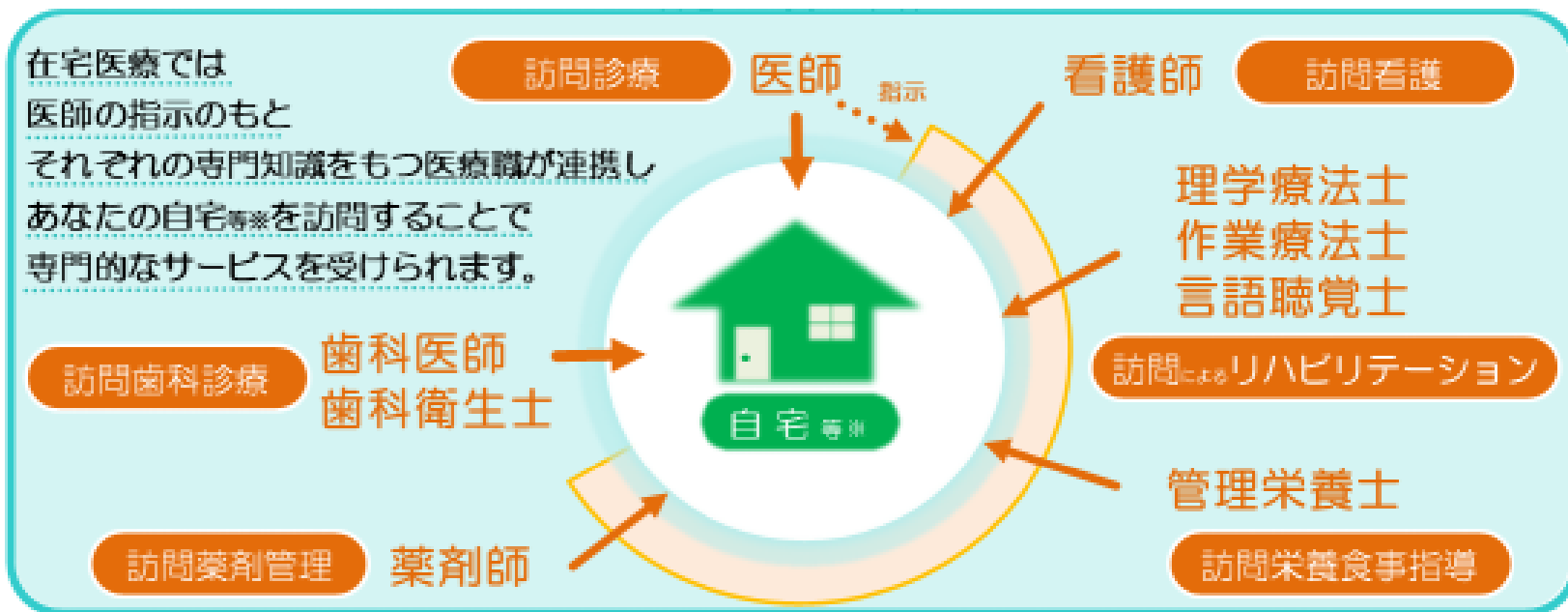
- 在宅緩和ケア

「通院が困難な患者」であれば対象

在宅療養支援診療所の増加

治療中からの病院医と在宅医「ふたり主治医」体制

在宅看取りの増加 全がん看取りのうち21.4% (2021年)



# 緩和ケアが公的医療保険の適応となる疾患

- **ホスピス・緩和ケア病棟**  
「がん」「AIDS」のみ適応
- **緩和ケアチーム・緩和ケア外来**  
「がん」「AIDS」「末期心不全」のみ適応  
それ以外の疾患の診療は病院の収益にならない
- **在宅緩和ケア**  
通院が困難な患者は誰でも適応

多摩総合医療センターでの  
取り組み



# 地方独立行政法人東京都立病院機構 多摩総合医療センター

府中市武蔵台 国立市と国分寺市のさかいめ

多摩キャンパスを構成 小児総合医療センター  
都立神経病院  
東京都がん検診センター  
東京都立府中療育センター



# 地方独立行政法人東京都立病院機構 多摩総合医療センター

病床数 789床

1日外来患者数 1515人

診療科 36科

地域がん診療連携拠点病院(厚労省指定)

Twitter  
公式アカウント



Youtube  
公式チャンネル



救急医療・がん医療・周産期医療  
が3つの柱

「総合力でいのちを守る」

病院キャラクター  
「たまりん」



# がん診療連携拠点病院

都道府県がん診療連携拠点病院

東京都は駒込病院と癌研究会有明病院

地域がん診療連携拠点病院（二次医療圏）

都内26病院

多摩総合医療センターは平成23年から指定

求められる機能

- ・専門的ながん医療の提供
- ・地域のがん診療の連携体制の整備
- ・患者・住民への相談支援や情報提供

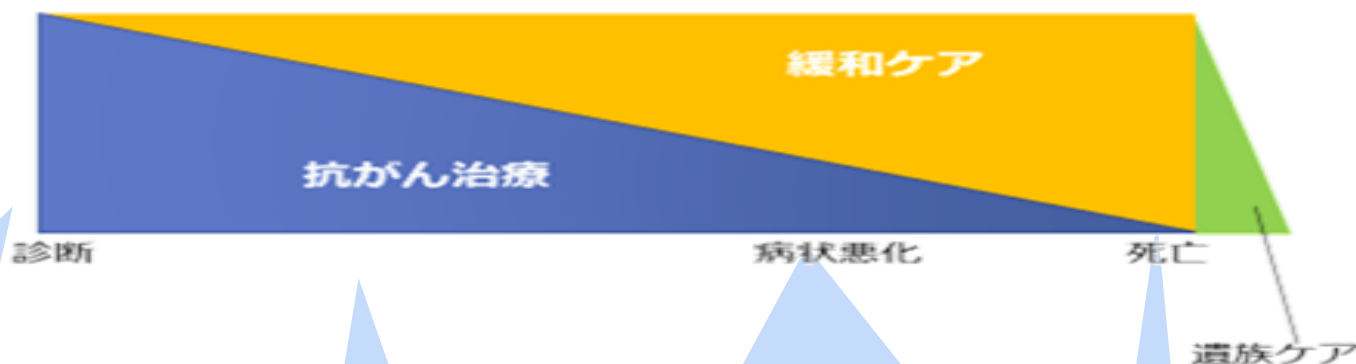
# 多摩総合医療センターの緩和ケアチームについて

構成：医師（内科Ⅰ・精神科Ⅰ・麻酔科Ⅰ・放射線治療科Ⅰ）  
看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、公認心理士、  
管理栄養士、リハビリテーション科

- ・ 平日毎日チーム回診をおこなっています  
症状コントロールのための薬剤やケアについて提案  
つねに主診療グループと連携して診療しています
- ・ 週に1回チーム全員でカンファレンスをおこないます
- ・ 疾患の種類や病期は問わず、患者さんにつらさがあるときは  
いつでも介入、支援をおこないます

# 緩和ケアチームが力を入れていきたいこと

①症状コントロールはもちろん、ACPもおこなっていききたい!



診断時の支援  
気持ちのつらさ、  
病状理解のサポート

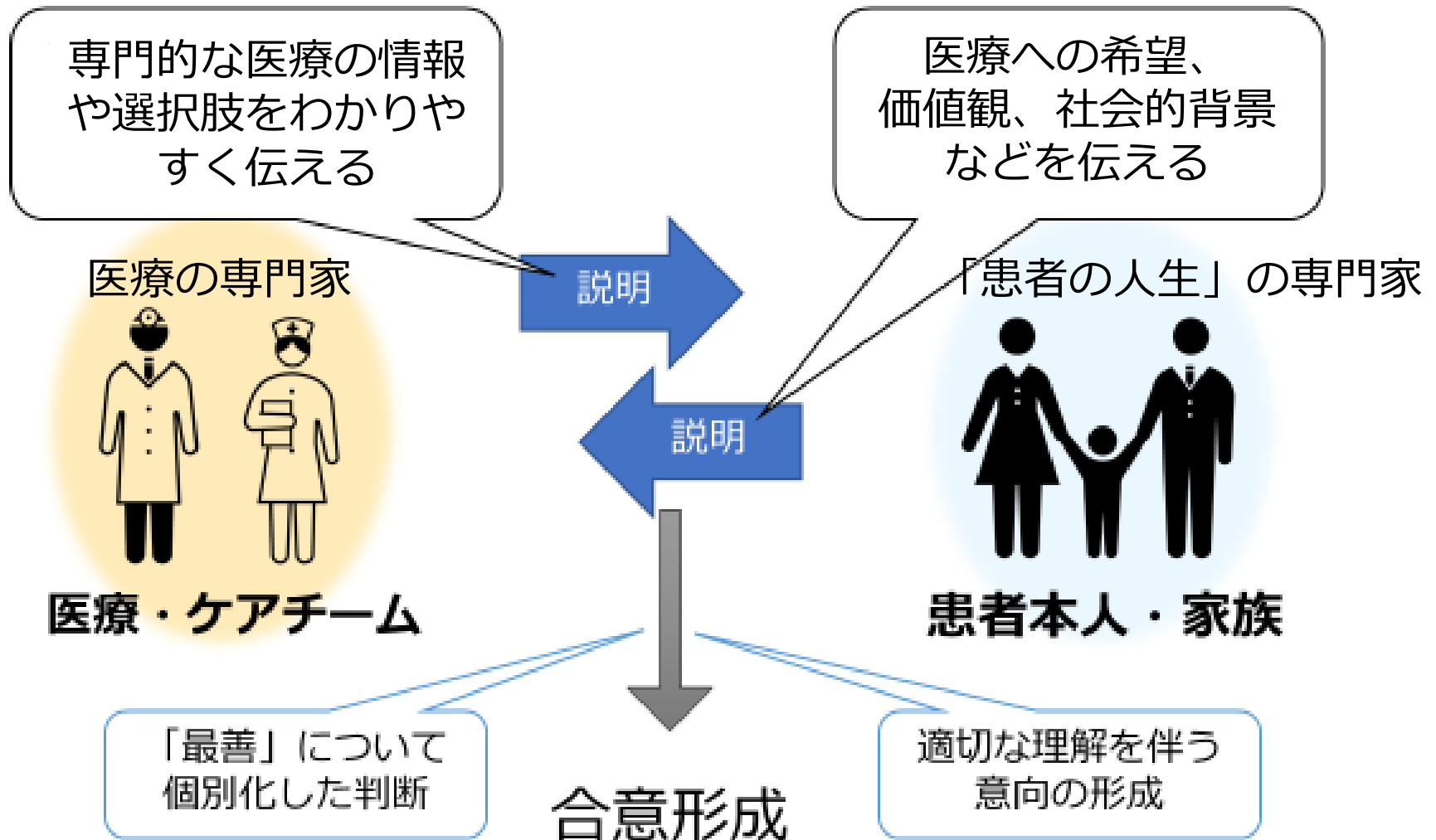
抗がん治療を継続するための支援  
日常生活の支援  
治療の副作用対策  
病状理解のサポート

治療が難しいかも、、、となってきたら  
不安への精神的支援  
病状理解のサポート  
治療継続/終了の意思決定支援  
療養についての相談

臨死期の症状の緩和  
看取りのケア



# 望ましい意思決定支援



# 緩和ケアチームが力を入れていきたいこと

②基本的な緩和ケアは院内の全員ができるようになってほしい!

- ・全職員を対象とした院内緩和ケア勉強会
- ・緩和ケア研修会 (PEACE PROJECT)

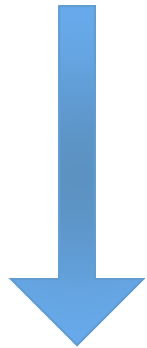


基本的な緩和ケアの技能を習得するための研修会  
がん診療に携わるすべての医療者を対象としています

# 「基本的緩和ケア」と「専門的緩和ケア」

- ・ 患者や家族の苦痛を気に掛ける
- ・ 一般的な薬剤での症状の治療や、療養環境調整

→これらはすべての医療者の義務



スクリーニング

特に対応が困難な身体・精神症状、社会背景

- ・ 緩和ケアの専門的なトレーニングを受けた医療者が対応する  
緩和ケア専門の医師・看護師  
緩和ケアの専門機関（緩和ケア病棟・在宅緩和ケア）

# 緩和ケアチームが力を入れていきたいこと

## ③病院の外でも継続的な緩和ケアが提供できる体制づくり

### 患者・地域サポートセンター



患者・地域サポートセンターでは、病気に伴って生じる生活上の様々な問題について当院に通院または、入院中の患者さんやご家族の相談をお受けしています。  
※がん相談支援センターでは当院におかかれない患者さんのご相談もお受けしています。



福祉相談	医療ソーシャルワーカー	⇒ 療養生活に関すること
心理相談	心理士	⇒ こころのケアに関すること
退院支援	看護師	⇒ 在宅の医療ケアに関すること
がん相談支援センター	看護師・医療ソーシャルワーカー	⇒ がんに伴うご相談
緩和ケア	看護師	⇒ がんの辛い症状についてのご相談
皮膚・排泄ケア	看護師	⇒ 褥瘡やストマなどのご相談
周産期支援	助産師	⇒ 妊娠・出産に関するご相談
脳卒中相談窓口	脳卒中療養相談士	⇒ 脳卒中に関する相談

**ご相談は、あらかじめお電話にて来室の予約をしてください。**  
(お電話でのご相談もお受けしております。下記、番号よりお掛けください。)

※相談内容が他にもれることはありません (秘密厳守)

東京都立多摩総合医療センター  
〒183-8524 東京都府中市武蔵台2-8-29  
TEL 042-323-5111 (代表)



# 患者・地域サポートセンター組織図

医療福祉相談支援センター	福祉相談	療養生活全般のご相談
	心理相談	こころのケアに関するご相談
	看護相談	在宅での療養に関するご相談
	退院支援	退院・転院等のご相談
	周産期支援	妊娠・出産・育児に関するご相談
	皮膚・排泄ケア	褥瘡・排泄のご相談
がん相談支援センター	がん相談	がんに伴うご相談
	緩和ケア相談	各種苦痛の緩和に関するご相談
地域医療連携センター	医療機関相談	地域医療機関への紹介 地域医療機関からの紹介
	病床管理	入院病床確保
入院サポートセンター		

## 看護相談・退院支援

- ・ ご自宅での医療処置、介護についての相談
- ・ 在宅療養に必要な医療機器・介護用品の購入やレンタル
- ・ 地域の医療機関（訪問診療・訪問看護ステーション）、地域包括支援センター等への連絡調整
- ・ 入院中の患者さんの退院前に地域事業所とのカンファレンス
- ・ 地域事業所からのご相談窓口



文書だけでは伝わらない  
細やかな情報の引き継ぎ



# 患者・地域サポートセンター組織図

医療福祉相談支援センター	福祉相談	療養生活全般のご相談
	心理相談	こころのケアに関するご相談
	看護相談	在宅での療養に関するご相談
	退院支援	退院・転院等のご相談
	周産期支援	妊娠・出産・育児に関するご相談
	皮膚・排泄ケア	褥瘡・排泄のご相談
がん相談支援センター	がん相談	がんに伴うご相談
	緩和ケア相談	各種苦痛の緩和に関するご相談
地域医療連携センター	医療機関相談	地域医療機関への紹介 地域医療機関からの紹介
	病床管理	入院病床確保
入院サポートセンター		

# がん相談支援センターで できること



- **がん相談**  
がんに関連した困りごとについて面談、電話・オンライン可  
医療ソーシャルワーカー、看護師、心理士が対応します
- **がん情報センター**  
がんにに関する情報、パンフレット、書籍  
医療用かつら、乳がん術後下着、ストーマ用品  
がん化学療法認定看護師による相談  
ピアサポート(がん体験者がお話を伺います)
- **木漏れ日サロン(かかりつけ患者さんのみ)**  
がん患者さんのご家族の語り合いの場  
疾患について知るための勉強会





## 地域とのコラボレーション企画

YouTubeチャンネル  
見てね！



### ・地域緩和ケア連携ミーティング

2020年度から開催

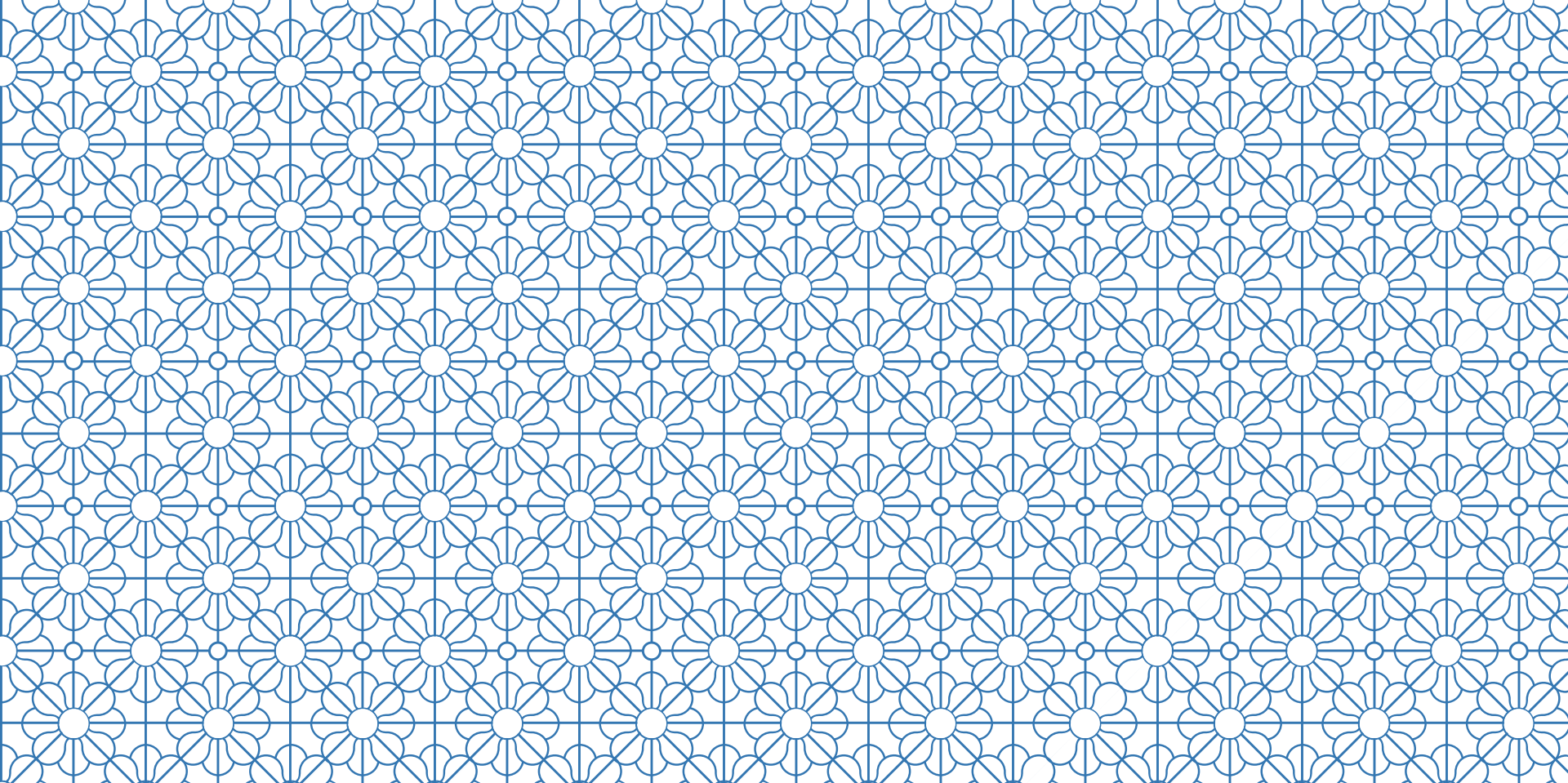
地域医療機関や事業所との座談会・講演会

### ・ホスピス緩和ケア週間

毎年10月の「世界緩和ケアデー」に合わせた1週間

緩和ケアの普及啓発のための展示・掲示

今年は連携ミーティングと合同企画



おわりに

# おわりに

- ・ まずは緩和ケアについて知ってください

緩和ケアは終末期だけのものではありません  
病気に伴うつらさを感じた時はいつでも  
受けることができます



- ・ 緩和ケアを受けたいときには、  
身近にいる医療者にその旨を伝えてください
- ・ 多摩総合医療センターでは、地域の緩和ケアを得意とする  
医療機関についての情報提供もおこなうことができます



そして、  
患者さんからも声をあげていきましょう！

- ・ 病院の外でも、普段からACPをしましょう

大切にしていること、生命への考え方、価値観、信頼する人、望む医療・・・ などについて日頃から話し合っていきましょう

- ・ 医療者にも、皆さんの「気持ち」「大切なこと」をたくさん教えてください

一見医療とは関係のない話題のなかにも、意思決定支援のヒントが隠れていたりします。たくさん「雑談」をしましょう。